
PCと一発の弾丸

ナカムラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

PCと一発の弾丸

【Nコード】

N4731P

【作者名】

ナカムラ

【あらすじ】

始業式の朝、突然誰もいなくなった東京都某所、これまた突然主人公にの前に現れたPC、そこから始まる学生達のSFミリタリー物語

そこに置かれたPC（前書き）

少々皆さんのイメージとは違います。

SFですが、宇宙的、未来的、な物ではありません。

そこに置かれたPC

えーっと、こんにちは、まずは自己紹介、自分は中邨徹なかむらとあつといいます。これは、非現実的な物語です。いろいろと…。

始業式当日

「うーん、誰もいない。」

始業式当日の朝、俺はいつもより早く学校に来ていた。

早いと言ってもほんの10分程度誰もいないのはおかしい、まあそのうち誰か来るだろうと本を取り出して読み始める。

「何かおかしいな・・・」

読むのをやめ時間を見る。まだ8:10、あと20分ある。

「ふー、眠いしちよつと寝よう。」

実は昨日やつと課題が終わったので、眠い

(おいっ、おきろ・・・)

聞いた事のある声が聞こえる。

「おきろっ!!」

肩を揺さぶられ、いやにでも起きる。

「川嶋?」

声の持ち主だと思われる。悪友の名前を呼んでみる。

「おう、起きろ、いったい何なんだ」

川嶋川嶋亮平かわしまりょうへいこの学校の親友であり、悪友。

「何って?」

「だから何で誰もいないんだ? ここに来る時も人っ子一人いなかったし・・・」

時計を見る、だがすでに時計は9:30をさしている。いろいろ考える前に、まず思った疑問をぶつける。

「今来たのか?」

「いや、バックレようとして・・・」

「お前なあ」

何か、いいわけを考えているのか目が泳いでいる。けれど、今日、はじめて見た知り合いの顔に少し安心する。

「で、何だっけ？」

「だから、何で誰もいないんだッ！！！」

「何だそれ、そんなわけないだ・・・」

周りを見てもほんとに誰もいない。

（ちょ、ちょっと待て・・・だれもない？、でも、現に俺と川嶋がいるし・・・）

「おい、それとお前の下敷きになってる、パソコンは何だ、ほっぺに痕ついいてるぞ。」

「はあ？」

ほっぺに手を当て、正面の物を見る。そこにあるのは、本当にパソコンそれも最新式の・・・（何だこれ？）

目をこすり、確認する。パソコン・・・ウィンドウ開きっぱなしの・・・最新式、ノートパソコンで無線式のマウスが横に置いてある。

そして画面にはインストール完了の文字。

「なあ、だから何がどうなってんだっ。」

「分からない・・・」

画面から目をそらさず、質問に答える。

「そうか・・・で、それは？」

「分からない・・・」

「分からないって、お前のじゃないのか？」

「違う、俺のはこれより古いやつだし。」

「クソッ、どうなってんだ」

「分からない・・・でも、この中に何かあるかも。」

二人、顔を見合わせてから、恐る恐る画面中央のプログラム起動を

クリックする。

画面は一瞬で真っ白になり、少し遅れて中央に一つ、銃の弾が現れる。

「なんだこれ？」

「ちよつと待て、その弾をクリックしてみろ。」

「わ…わかった」

言われたまま、弾をクリックしてみると、そこに表れたのは。

『地図？』

地図、それも多分この周辺の地域の。

「なあ、この点滅してるのって、ちよつどこだよな」

「確かに、でもこれ二つ重なってるな、多分。」

「ん、でもここ以外にも点滅してる、それに…少しずつ、動いてないか？」

そして、ある事を思いつく。

「これってもしかして、俺達か？」

「多分…」

「じゃあ、他の点滅って俺達以外に、この近くにいい」

言いかけた時、PCの画面が切り替わり、メールのアイコンが表示され自動的に開かれる。そこには、たった一文

全員と合流し新しいメールを待ってください。と

『何だそりゃ？』

見事にハモった。

そこに置かれたPC（後書き）

高校に始業式ってありましたっけ？
なかったらどうしよう。

まあいいや、とても読みづらい文章でごめんなさい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4731p/>

PCと一発の弾丸

2010年12月13日07時41分発行